

1. 阿字ヶ浦

(1) 第1セット

- 1) 出だし6対0で一方的なリードを奪う展開でスタート。
- 2) 連続失点も最大2点以内で抑えるなど、相手に隙を与えない理想的な試合運び。
- 3) 全ての種目でミナト・イーグルを上回っている印象を持った。特にサーブレシーブとスパイクレシーブの繋ぎは顕著であった様に思う。
- 4) ブロックも外にはじかれない、ワンタッチを上手に取って、二段トスからの攻撃に繋げていた。
- 5) 最後はサービスエースで19点目、20点目を奪うなど終始安定した試合で、21対11と危なげない展開で第1セットを先取した。

(2) 第2セット

- 1) 中盤までは互角(9対8)の戦いが続いた。
- 2) レフトエースはストレート打ちは、不得手と感じた。序盤にミスもあり、第1セットの様に引き離す展開が出来なかった…。課題の一つであると思う…。
- 3) 9点からの連続9得点は見事、18対8と一気に勝負の行方を決めた。
- 4) サービスエースで11点から13点の3点連続は非常に効果的であった。
- 5) 17点目を奪った、エンドライン付近からの難しい二段トスをエースが打ち切り、決めた一点は価値あるプレーであった。中盤から一気に抜け出し、21対11でセットを奪い、圧勝と言う印象で優勝を決めた。

2. ミナト・イーグル

(1) 第1セット

- 1) 出だし0対6の連続失点で、苦しい展開でスタート。第1回目の作戦タイムを要求。
- 2) その後も連続失点があり、4対15で第2回目の作戦タイムを要求。
- 3) 特にサーブレシーブとスパイクレシーブの繋ぎが安定しないことが、一方的な試合展開の一つの要因と言えよう。
- 4) 当日のメンバーの台所事情は厳しい様に見えた。日頃と違うポジションでプレーしなければならないことから、少し勝手が違っていたのかも知れない…。
- 5) 何れにしても、2回の大量の連続失点がリズムを作れなかった最大の要因であろう…。

(2) 第2セット

- 1) 出だしサーブレシーブが崩れ、8対11で第1回目の作戦タイムを要求。
- 2) 中盤までは互角の戦いをするも、またもサーブレシーブが崩れ、連続失点で11対19となり、勝負の行方は見えた。
- 3) メンバーの台所事情も大きく影響してか、特にレシーブの繋ぎが修正できず、残念ながら完敗と言えよう。